













	製品概要	スタンダードモデル	ウイルス対策モデル	管理者ソフトウェア対応モデル	
				スタンダードモデル	ウイルス対策モデル
	シリーズ名	ED-E4	ED-V4	ED-S4	ED-SV4
早見表	主な機能 (左からセキュリティ、ウイルス対策、管理者ソフトウェア対応)	  	  	  	  
	対応管理者ソフトウェア	-	-	SUM-S4	SUM-S4
管理・付加機能	パスワードロック	○	○	○	○
	最小文字数	4文字	4文字	4文字	4文字
	連続ミス可能回数	100回	100回	5回	5回
	パスワードポリシーの変更※ (最少文字数、ミス可能回数等)	-	-	○※	○※
	パスワード亡失時の復旧※	-	-	○※	○※
	遠隔地からのパスワード復旧※	-	-	○※	○※
	使用PCの制限機能※	-	-	○※	○※
	使用OSの制限機能※	-	-	○※	○※
	ハードウェア自動暗号化(AES256bit)	○	○	○	○
	ログイン画面の自動起動	○(※6)	○(※6)	○(※6)	○(※6)
ウイルス対策	搭載ソフトウェア	-	TMUSB2.1	-	TMUSB2.1
	データ書き込み時 自動ウイルスチェック	-	○	-	○
	手動検索	-	○	-	○
	自動アップデート(※1)	-	○	-	○
	サポートサービス期間(※2)	-	1年/3年/5年	-	1年/3年/5年
	Autorun.inf自動削除	○	○	○	○
管理・付加機能	保存領域のサイズ変更※	-	-	○※	○※
	ログイン後のファイル自動実行※	-	-	○※	○※
	書き込み禁止設定※	-	-	○※	○※(※9)
	ログの取得※	-	-	○※	○※
	初期化専用ソフトウェアの出力※	-	-	○※	○※
	使用期間設定ツールの出力※	-	-	○※	○※
セキュリティUSBメモリー廃棄機能※(※3)	-	-	○※	○※	
その他	対応OS(※4、5)	Windows 8.1/Windows 8/Windows 7(※7) Mac OS X 10.7~10.10(※8)	Windows 8.1/Windows 8/Windows 7(※7)	Windows 8.1/Windows 8/Windows 7(※7) Mac OS X 10.7~10.10(※8)	Windows 8.1/Windows 8/Windows 7(※7) Mac OS X 10.7~10.10(※8、10、11)
	サーバーOS対応(※4、5)	Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2	Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2	Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2	Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2012 R2
	ハードウェア保証期間	1年間	1年間/3年間/5年間	1年間	1年間/3年間/5年間

(※1) インターネット接続環境が必要です。(※2) サポートサービス更新ソフトウェア「ED-VLシリーズ」をご利用いただくことで、利用期間の更新が可能です。
 (※3) セキュリティUSBメモリー廃棄ツール「ED-HAIKI」にて、同等の機能を利用可能です。(※4) サービスパック、32/64bit対応など詳細は製品ページをご確認ください。
 (※5) ウイルス対策モデルに搭載のTMUSBの対応OSは商品とは異なります。詳しくはトレンドマイクロ社のホームページをご確認ください。
 (※6) 別途、自動起動ツールのインストールが必要です。(※7) 添付の初期化ソフトウェア「SUReset4」はWindowsのみ対応です。
 (※8) パスワードを忘れてしまった場合などUSBメモリーの初期化を行う際は、Windows環境が必要になります。(※9) 管理ソフトで「ウイルスチェック」機能を無効にする必要があります。
 (※10) 一部、MacOSで利用できないポリシー設定があります。詳細は管理者ソフトウェアの画面で見るマニュアルを参照してください。
 (※11) 管理ソフトで「ウイルスチェック」機能を無効にするか、「MacOS ログイン許可」を有効にする必要があります。